



[質問]

3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミングブランケットに付属しているヘッドドレーブは、どんな役割がありますか？

よくある質問 6



[答え]

ヘッドドレーブを使用することにより患者頭部からの放熱を防ぎ、保温します。



熱は頭部からも放散されているため、
ヘッドドレーブの併用により患者加温の効率性を高めます。

頭部のヘッドドレーブは、下図のように気管内挿管時にもみ使用してください。

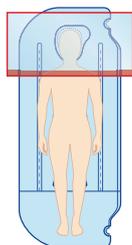
ヘッドドレーブが付属されているブランケット製品

3M™ ベアーハガー™ ブランケット製品 (モデル635, 585, 575, 555, 522, 622) にはヘッドドレーブが付属されています。

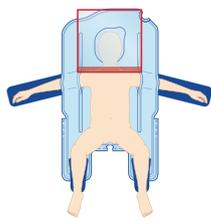


3M™ ベアーハガー™
深部温モニタリングシステムとの併用時でも、
体温測定に影響はありません。

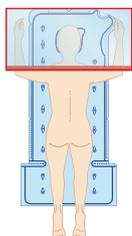
アンダーボディ
フルアクセス用
Model **635**



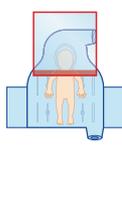
アンダーボディ
砕石位用
Model **585**



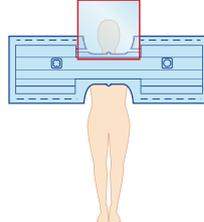
アンダーボディ
脊椎手術用
Model **575**



アンダーボディ
乳幼児用
Model **555**



術中用
アッパー用
Model **522/622**



固定用粘着テープ付
アンダーボディタイプには、ヘッドドレーブが同梱されておりますので、後から装着をお願いします。ヘッドドレーブをブランケットまたは手術台に固定するためのテープが付いています。

522/622のヘッドドレーブは、後付けではなく、あらかじめ取り付けられています。

警告

1. 使用時には必ず指定のエアパッド特定加温装置コントロールユニットのエアホースをウォーミングブランケットに接続すること。
[エアホースのみによる加温は、熱傷を引き起こすため。]
2. ウォーミングブランケットは、孔の開いている側を患者の体表面に向けて使用すること。[熱傷を引き起こすことがあるため。]
3. 加温中は、患者の体にエアホースが触れないようにすること。[加温中はエアホース全体が高温になり、接触していると熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
4. ウォーミングブランケットと患者の間にシーツを敷かないこと。[加温性能および安全性に影響するため。]
5. 温度上昇警報ランプが表示され、アラームが鳴った場合は、直ちに使用を中止すること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
6. 患者の体温・皮膚の状態を10～20分おきにモニタすること。バイタルサインに異常または不安定な状態が見られた場合は、直ちに使用を中止すること。
7. 正常体温に回復したり、バイタルサインが不安定になった場合は、設定温度を下げるか、または使用を中止すること。
8. 患者が下記の状態にある場合は、細心の注意を払い、絶えずモニタすること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
●閉塞性または糖尿病性の著しい末梢血管障害の患者 ●低心拍出量の患者 ●血流状態が悪い患者

禁忌・禁止

1. 再使用禁止
2. 大動脈クランプなどで、四肢の血管が遮断され、虚血状態になっている部位には使用しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
3. 本品は、適用機種以外には接続しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。また、本来の性能を損なうおそれがあるため。]

3M、Bair Hugger、ベアーハガーは、3M社の商標です。

2017年4月発行

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

感染管理製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.
HPM-682-B(041710)TP

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45～17:15 / 月～金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます